

まちづくりチャレンジ協働事業補助金実績報告書

2022年 3月 6日

NPO 法人
恵庭市市民活動センター運営協議会
理事長 様

団体名 NPO 法人 おはな
住 所 恵庭市黄金
申請者 氏 名 石上 一美
電 話 [REDACTED]

2022年 6月 1日付特惠活第14号をもって交付決定のあった恵庭市まちづくりチャレンジ協働事業補助金に係る実績報告について、恵庭市まちづくりチャレンジ協働事業補助金交付要綱に基づき交付された補助金の交付に関する事務手続き要領第10条の規定により下記のとおり報告します。

記

- 1 協働事業の名称 : 依存症予防啓発普及事業
- 2 補助金交付決定額 100,000 円
- 3 補助対象事業の決算額 132,830 円
- 4 実施期間 2022年 5月 1日 から 2023年 3月 6日 まで
- 5 添付書類
 - (1) まちづくりチャレンジ協働事業報告書（様式第13号）
 - (2) まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支決算書（様式第14号）
 - (3) その他理事長が必要と認める書類



まちづくりチャレンジ協働事業報告書

協働事業の名称	依存症予防啓発普及事業		
団体名	NPO 法人おはな	実施場所	えにあす
担当課	保健福祉部 保健課		

協働事業の実施状況 ※いつ、どこで、なにを、どうしたか記入してください。	依存症予防教育講座と、依存症予防啓発セミナーの開催 ●依存症予防教育講座 4月28日木曜日 19時～20時30分 緑と語らいの広場 えにあす 1階 会議室4 依存症講座「依存症を正しく学ぶ」 5月7日土曜日 10時～11時30分 緑と語らいの広場 えにあす 1階 会議室8 依存症講座「依存症の正しい知識を伝え、地域の理解を深める」 6月12日日曜日 19時～20時30分 緑と語らいの広場 えにあす 1階 会議室1 依存症講座「オンラインゲーム＆ギャンブル」 8月19日金曜日 18時～20時 緑と語らいの広場 えにあす 1階 会議室1 居場所ふれあいサロンおはな 特別企画 依存症講座 「保護者に聞いて欲しいネット利用に潜む危険と依存」 2月23日祝日木曜日 10時～11時30分 緑と語らいの広場 えにあす 1階 会議室1 依存症講座「お酒と上手に付き合う！～低リスク飲酒と依存症～」 ●依存症予防啓発セミナー「アディクションと回復」 ① 講演（白坂氏によるゲーム障がい、アルコール問題） ② ディスカッション （パネラー：ゲストスピーカー、コーディネーター：石上） 日時：2022年8月27日土曜日 16時から18時 開催場所：緑と語らいの広場えにあす 2階会議室8-1、8-2、8-3 参加費：500円 ゲストスピーカー 北海道在住のASK認定依存症予防教育アドバイザー3名 ○稻葉圭昭（イナバヨシアキ）氏 ○宿輪龍英（シュクワタツヒデ）氏 ○白坂知彦（シラサカトモヒロ）氏 アンケート（紙29、LINE1）別紙参照
協働事業の成果 ・事業内容の成果	団体の成果 年間を通して、依存症予防の啓発活動を行うことが出来ました。特に8月の

<p>・協働で取り組んだことの効果 等</p>	<p>セミナーでは、講師が名のある方々でしたので、多くの方に興味を持っていただき、恵庭市民に留まらず、各所から、ご参加頂き、恵庭市の依存症予防教育活動を知って頂く機会につながりました。コロナ禍で、様々な依存症が発症しているにも関わらず、当事者はその意識が無く、情報にも乏しいことから、家族も困っていた様です。活動をきっかけに、相談もありました。これまで、恵庭市では、通年で依存症予防についての事業が無かったと思いますので、保健課と協働で取り組んだことで、市民に依存症の情報提供が広くできしたことや、相談の場所があることを周知できたことが、成果と考えます。</p>
	<p>担当課の成果</p> <p>アルコールや薬物依存などについて経験者や専門医を呼んでの講演会は貴重であり、身近な依存症について普及啓発することになったのではないかと思われる。</p>
<p>協働事業の実施時に おける役割分担</p>	<p>団体の役割 事業の企画、周知、運営。講師との調整。会場の調整準備。</p> <p>担当課の役割 市ホームページや広報等の周知、運営サポート など</p>
<p>次年度以降の見通し と課題</p>	<p>団体として 子どもから大人まで、きっかけは様々ですが、依存症者が増えていることから、活動の継続が必要と考えています。依存症をもっと身边に考えて頂き、回復を応援する社会（まち）を目指し、インパクトのある講師をお呼びし、興味を持っていただく、企画が必要だと感じています。活動には、資金の確保、周知の方法など、課題がありますので、担当課と密に連携し事業継続いたします。家族会の設立に向けて準備中です。</p>
	<p>担当課として 講演会などの開催に伴い、より効果的な普及啓発活動となるよう、更なる周知等を行っていきたい。</p>
	<p>共通して 依存症予防啓発について、お互いに協働を意識し、市民の皆様の健康維持増進に寄与したい。市のホームページや、広報を利用し、事業周知を活発に行って行きたい。市民の中に依存症問題を抱えている方は、多くいると思います。その方々が、回復できる環境づくりをしていきたいです。家族会の設立も視野に入れ、今年度の活動を基礎に、次年度につなげたい。</p>

※ 周知用チラシや実施時に記録した写真等を添付してください。

※ 記載欄が不足する場合は別途資料を添付しても構いません。

*自己評価

評価欄にあてはまる数字を記入してください。

4…できた（非常にあった）

3…概ねできた（あった）

2…あまりできなかった（あまりなかった）

1…ほとんどできなかった（ほとんどなかった）

項目	評価者	評価	1や2の場合、その理由
課題や目的を共有することができたか	団体	4	
	担当課	4	
目的は達成できたか	団体	4	
	担当課	4	
計画どおり進めることができたか (事業費、実施体制、自主自立性等)	団体	4	
	担当課	4	
市民ニーズは反映されたか (不特定多数の利益、まちづくりへの寄与等)	団体	4	
	担当課	4	
互いの役割分担はしつかりできたか	団体	4	
	担当課	4	
協働で事業実施をした効果があったか	団体	4	
	担当課	4	

まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支決算書

協働事業の名称： 依存症予防啓発普及事業

1 収 入

(単位：円)

項目	金額		説明（積算等）
	予算	決算	
補助金	100,000	100,000	まちチャレ補助金
参加費	25,000	22,800	500円×40名ほか
負担金	15,000	10,030	NPO法人おはな
合計	140,000	132,830	

2 支 出

(単位：円)

項目	金額		説明（積算等）
	予算	決算	
謝金	70,000	70,000	講師謝金（白坂氏30000、宿輪氏20000、稻葉氏20000）
施設使用料	20,000	8,700	公共施設使用料（えにあす）、機材ほか
印刷費	40,000	52,580	フライヤー、ポスター・デザイン、印刷 ワンステップ（49940）、内山新聞店（2640）
消耗品	10,000	1,450	横断幕（790）、セリア（660）アンケート用コ ピー用紙、インク、消毒ほか
手数料		100	
合計	140,000	132,830	

※ 支出証拠書類等の写しを添付してください。

すごい奴ら集結

北海道在住

ASK認定 依存症予防教育アドバイザー4名



稻葉圭昭氏



宿輪龍英氏

元道警 警部。2002年 覚せい剤取締法違反、銃刀法違反の罪で服役。綾野剛主演映画「日本で一番悪い奴ら」のモデル。

著書 耽さらし(講談社)

警察と暴力団 愈着の構造(双葉社)



石上一美



白坂知彦氏

NPO法人おはな代表理事。
居場所づくり、相談等の事業を行っている。
依存症家族、支援者。

精神科医。医療法人済仁会 手稲済仁会病院 精神保健科部長。
依存症専門外来「インターネット過剰相談窓口」「お酒のもんだい窓口」を開設し診療にあたっています。
インターネット・ゲーム依存などの研究、教育機関との連携した健康教育などの普及啓発にも尽力されている。

依存症予防教育セミナー in 恵庭

「アディクションと回復」

8月27日 土曜日 16時から18時30分

1部 講演:白坂知彦氏

「アディクションとは?」

アルコール・ゲーム障害・自助グループ活動を通してつたえたいこと

2部 パネルディスカッション

稻葉圭昭氏/宿輪龍英氏/白坂知彦氏/石上一美

場所 恵庭市緑町2丁目1-1

緑と語らいの広場 えにあす 2階会議室8-1、8-2、8-3

参加費 500円 ※活動に賛同頂ける方からの寄付も受け付けています

定員 50名 ※先着順。定員になり次第締め切ります。

お申込みはこちらのQRコードから



お問い合わせ連絡先

NPO法人おはな
080-4044-8313



主催:NPO法人おはな

協働:恵庭市保健福祉部保健課



保護者に聞いて欲しい! ネット利用に潜む危険と依存



日時：8月19日（金）

19時から20時30分

場所：えにあす 会議室1
(恵庭市緑町2丁目1番1号)

参加費：無料

講師：ASK認定依存症予防教育アドバイザー
全日本青少年育成アドバイザー
NPO法人おはな 代表理事
石上一美

おはなの最新情報はQRコードからどうぞ！

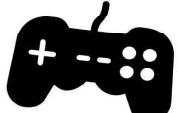


お問い合わせ連絡先
NPO法人 おはな
電話番号：080-4044-8313



オンライン(zoom) 参加ご希望の方は、事前に公式LINEまたは、ホームページからご連絡ください。

※申し込みは不要です
直接会場にお越しください



依存症は回復できる病気です

オンラインゲーム & ギャンブル

依存症予防 教育講座

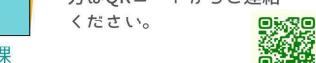
講師：依存症予防教育アドバイザー
NPO法人おはな代表理事 石上一美

6月12日（日）
19時～20時30分
参加費無料
緑と語らいの広場 えにあす
1階会議室1
(恵庭市緑町2丁目1-1)
※オンライン参加ご希望の方はQRコードからご連絡
ください。

主催：NPO法人おはな

080-4044-8313

協働：恵庭市保健センター 保健課



参加費無料

お申し込みは必要ありません。
直接会場にお越しください。



お酒と上手に付き合う！ ～適正飲酒と依存症～

2月23日祝日(木曜)

10時～11時30分

会場：緑と語らいの広場えにあす 1階会議室1
(恵庭市緑町2丁目1-1)

健康維持のため、適正飲酒と依存のリスク
依存症について正しく理解して頂くための講座です。
どなたでもお気軽にご参加ください。

講師：ASK認定依存症予防教育アドバイザー
飲酒運転防止インストラクター
全日本青少年育成アドバイザー
NPO法人おはな代表理事 石上一美

お問い合わせ連絡先：NPO法人おはな
QRコードからどうぞ↓



依存症は回復できる病気です

依存症の正しい知識を伝え、 地域の理解を深める！

オンラインゲーム＆ギャンブル

2022年5月7日 | 10:00～11:30

緑と語らいの広場 えにあす 1階会議室1
(恵庭市緑町2丁目1-1)

参加費：無料



※オンライン参加ご希望の方は、
QRコードからお申し込みください。



講師：依存症予防教育アドバイザー
全日本青少年育成アドバイザー
NPO法人おはな 代表理事 石上一美



6月25日・26日

はなふる会場にて依存症予防の展示を行います。

主催：NPO法人おはな

お問い合わせ連絡先：080-4044-8313

協働：恵庭市保健センター 保健課

アルコール・ギャンブル・薬物・ゲームなどの依存
家族やお友達のことでの悩んでいませんか？

依存症を正しく学ぶ

- 依存症って何？依存症薬物+行為
- 安心できる居場所
～サードプレイスとは？～

4月28日木曜日

19:00～20:30

参加費：無料

緑と語らいの広場えにあす2階会議室8-1
(恵庭市緑町2丁目1番1)

※オンライン(zoom) 参加ご希望の方は、
申し込み時にお知らせください

今後の依存症講座予定

- ・ ギャンブル
- ・ アルコール
- ・ オンラインゲーム
- ・ 関係を壊さないNO！
- ・ 感情対処とセルフケア
- ・ 仲間の圧力から身を守る

参加申し込み先：NPO法人おはな
公式LINE・Facebook・Instagram・ホームページ
TEL：080-4044-8313

後援：恵庭市





11月11日に札幌市西区で行なわれるイベントは定員100人——申し込み・問い合わせは宿輪龍英さん(電話090・6262・1963、メールshukuwa6262@gmail.com)へ

ゆる生きづらさの問題が背景にあることが明かされた。調師・4人で初めてアーティスカッジョンでは、元寮生の篠原義典(左)と、元寮生の篠原義典(右)が札幌から招かれ、自らの覚醒剤依存症を振り返る。警察官組織的に取り組んでいた不正な覚醒剤検査が当然、すべて自分のせいにされ「右も左ももういいや」という気分になつて、捜査協力方に注射して貰つた。「8年間服役です」覚醒剤使用は8年間服役で、現在は薬剤と無縁な生活を送っている篠原さん。依存症回復に必要なのは自分を大切にすることと、親友・自分を中心とすることと、親友・自分を中心とする事などを決して見放さないで欲しいと語えた。

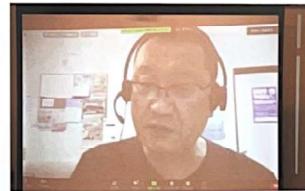
アルコール依存やゲーム依存からの回復について「周囲の人たちが当事者の自己肯定感を高めてあけることが大切」と、吉田知恵医師
に変化られない「どう過敏な事が進んで行」といって、社会のアルコール中毒への偏見が当事者の受診の決意を阻害させている現実が指摘される。一方で「アルコール依存症のアルコールによるうな物質への依存性は異なる」と考えられるがちだが、それを仕組みは同じであるのかわせており、「いわゆる生き生きとの問題が背景にあることが明かされた」とスカツツヨンでは、講師「4人でよりアドバイザーリングを取った元警察官の経営者」賀崎裕一は、

Journal's Eye



依存症に理解を
道内「アドバイザー」一堂に
恵庭市。予防教育セミナーに50人が関心

依存症を身近な問題として考えるセミナーに、多くの関心が集まつた
(8月27日午後、恵庭市の複合施設えにあす)



稻葉圭昭さんは一昨年10月に道内初のドバイザー資格を取得、「実体験を通して新しい知識を伝えたい」と講師を引き受けた

ましたが、結局やめられない
りたくないと思いつつ、慣れ
なりやがくなつて」。
当事者の切実な語りに、道
ら足を運んだ約50人が熱心に
ける。8月27日午後、薬物な
存症予防教育の普及をめざさ
ナチーが東京市内を開かれ、
専門アドバイザーライツを持
予防教育について語り合つた。

「毎日のように」やめようと思つて

2002-13 THE HORPO JOURNAL

道内のアドバイザーらが取り組む啓発企画としては、先の宿輪さんたが1月11日、札幌市内で「勇者の祭典」として、新たにアーベントを実施。併催された「この冬生まれたことを指引でトータルライブを開く予定」。道内の関係者は「ライブ配信も含め、関心のある方はぜひご参加を」と呼びかけていた。

加したNPOの福輪さんからお話を（帯広市長の福輪さんは、NPOの活動や社会貢献活動で計5回の役員経験を持つ内発防止に有効なのは人にも自分とて正直である」と話した。）
「福輪さんもよくおっしゃる通り、いろいろな施策として嘘を重ね、最後はやつたらどうしようかとなってしまう。だからとにかく正面で、決めたことは守るよう自分に課していまます」
セミナーの最後にはNPOの方々が、代表の上石一美さんは参加した皆さんから知らなかつた情報にたくさんの驚きや感動を感じられていて、「また会いたい」と言葉を残す。当時は遠外からの参加もあつたといい、それぞれの地域で依存症への理解を深めていくことで貢献したいとの思いを強くしたといふ。

2020-10

2020-48

THE HORPO JOURNAL

令和4年10月1日発行 毎月1回1日発行 第51巻・第10号・通巻636号

Hoppo Journal

時代を撃つ北の報道・評論誌
北方ジャーナル

10 OCT. 2022

50TH ANNIVERSARY

鈴木翁二特選漫画館
《花嫁》

北斗市LEDリース事業で随意契約の怪

PICK UP!

取り調べ同席「認めない」通達を道警が撤回
恵庭発擁壁崩壊トラブルで杜撰工事の疑い
混迷のネムロニュースが組合員の解雇断行



依存症予防教育セミナーin恵庭 アンケート集計

① 性別

	男	女	無回答
	18	11	1

年齢

30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
3	8	9	6	3	1

お住まい

恵庭市内	北広島市	千歳市	札幌市	小樽	苫小牧	広島県	千葉県/船橋	無回答
15	1	2	4	1	1	1	1	4

② 該当する項目

当事者	アルコール	薬物	その他	家族	親	子供	その他	・パートナー
	7	1	0		0	1	1	
友人	その他							
1	5							
支援者	・NPO法人レターポスト・フレンド協会 ・矯正施設・断酒会	・船橋北病院			・ASK認定依存症アドバイザー ・NPO法人CAN		・オンプレ・ジャパン	
なし	無回答							
1	11							

③ 参加目的

1部に興味があった	2部に興味があった	両方	その他	無回答
4	1	17	1	6

④ どこで知ったか

ラジオ	SNS	紹介	広告	その他	・宿輪さん・妻から・石上さん・パンフレット
1	10	9	7	4	

⑤ 満足度

大満足
16

・依存症についての説明やその後当事者の方の体験談を加えて聞くことで依存について今までとは違う見方が出来ました。
・貴重なお話を聞かせていただき当事者の方医療者の方主催者の方に感謝です。活動に活かして参ります。
・ありがとうございました。
・おはなで白坂先生に来てもらえるんですね。すごいです。ためになりました。やはり家族とかが大事なのかなあ
・来て良かったです。「何々にはまって依存症になった」のではなく「何々にはまらないと生きていけなかった」との白坂先生の言葉に涙がでました。
・”自分を大切にする”日々忘れてしまいそうなので改めて自分を振り返って大切にしていこうと思います。石上さんスタッフさん講師の皆様ありがとうございました貴重なお話が聞けてよかったです。画面でお会いした方々とリアルで会えて感激でした。
・最近の依存症の動向等を含めたお話や当事者の方のお話を聞くことができてよかったです。これからも頑張って下さい。
・どの方のお話もとてもおもしろかったです。
・実際の話を聞いたのは初めてなので驚くことがたくさんありました。
・白坂先生の講話が大変学びとなりました。優しい口調と美しい言葉、優しいお心があふれておられました。病院内での同じDr.としての見解の違い、誤解、偏見があり ここから1つのTeamとなるプロセスのお話しに感銘を受けました。依存となる社会背景、環境が大きく「ダメは絶対ダメ」が腑に落ちた次第です。
・アドバイザー4人の組み合わせがとても良かった。
・後半の30分しかきませんでしたが当事者の皆さんのが率直に語る内容も、石上さんの質問がとても具体的で聞き入りました。自分を大切にする話、むずかしいけど、これができればいろいろな悩みが解消されていくんだろうなと思いました。ありがとうございました。
・とてもいい内容でした。1部の中でご紹介のあった『18の約束』早速調べて周りに伝えたいと思います！2部のパネルディスカッション、薬物依存当事者の方の話がきけたのは、とても有意義な経験でした。怖くて目を向けることもできなかつた薬物の世界、今回をきっかけに関心を持ってみようと思いました。本当に素晴らしいかったです。
・今回のセミナーに参加できて非常に良かった。今後の人生に参考します。

満足
10

・年齢的なのか白坂先生の声がよく聞き取れず残念でした。白坂先生の情報が多すぎて半分も理解できませんでしたが今後の証成の参考にさせていただきます。
・依存症の人たちへの理解をわかりやすく説明し促して下さったと思います。根っこに「生きづらさ」があること、大半は家族(親との関係)が素にあることを当事者も支援者ももっと理解していかなければと思います。
・貴重な話が聞けて良かった。
・おくれてしまって残念でした。
・行動をおこすうらには何かある。その事をわかってあげられる気持ちの大切さ !!

普通
0

まあまあ
1

・ありがとうございました。お疲れさまでした。

不満
0

無回答
3

・音声が聞き取りにくかった・白坂先生が早口で半分くらいわからなかった。2部はとても興味深かった。生の体験を聞けてとても勉強になった。

・途中参加となったため(急用で)内容を全て聞くことが出来なかった。

⑥ 今後開催してほしいテーマ

- ・いじめはなぜなくならないのか……無くす方法は有るのだろうか
- ・ゲーム依存から回復にむけた親子での取り組み
- ・家族メインのセミナーがあつたらいいなと思いました。
- ・継続的に学習できるようになってほしいです。
- ・今回の内容を踏まえ、当事者、家族ではない、同僚、同級生、学校の先生、ご近所など親身には受け止められない第三者の関わり方を聞いてみたいなあと思いました。
- ・特に思う事はありませんが、また参加させてほしいと思います。
- ・毒親に関してのセミナーやってもらいたい。うつ病の事のセミナーをやってもらいたい。

2022年依存症予防啓発普及事業

